

シンポジウム「アルミニウム合金鋳物の熱処理に付随する諸現象の統一的理解」
—各種アルミニウム合金の T5 熱処理における時効析出挙動と機械的性質—
のご案内

軽合金研究部会
部会長 中山 栄浩

アルミニウム合金鋳物の多くは、物理的・機械的性質をはじめとする諸特性の向上、残留応力除去、寸法安定化など、様々な目的により種々の熱処理が施されます。最近では、自動車の軽量化とともにアルミニウム合金鋳物・ダイカストへのニーズがますます高まり、さらなるコスト低減が望まれる中で、溶体化処理を排した T5 熱処理に改めて注目が集まっています。また、T6 処理と比較して熱処理ひずみが少ないために、採用例が増えています。そこで当研究部会では T5 熱処理に焦点を当て、一般に広く用いられている主要なアルミニウム鋳造合金を対象に T5 熱処理のポテンシャルを調査することとしました。特に、機械的性質に影響が大きい鋳造後の冷却速度を制御して実験を行い、導電率及びマイクロ組織と機械的性質の関係を調べました。

この度、共同実験を通じて得られた知見と、それに関連する研究について研究報告書を作成し、下記の内容でシンポジウムを開催することとなりました。会員他多数のご参加をお待ちしております。

日 時：令和元年 12 月 23 日（月）13：30～16：50

場 所：東京工業大学 デジタル多目的ホール

所在地：〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学 西 9 号館

（東急大井町線・目黒線 「大岡山」駅下車 徒歩 3 分）

募集定員：約 80 名

参加費：正会員 8,000 円, 学生会員 3,000 円

非会員 20,000 円 （研究報告書を含む）

プログラム

13:30～13:40	開会あいさつ	部会長	中山 栄浩
13:40～14:00	鋳造業界を取り巻く環境の変化と鋳造技術動向	日産自動車(株)	神戸 洋史
【共同研究報告：T5 処理を施した各種実用合金の機械的性質】			
14:00～14:20	共同研究の背景	いすゞ自動車(株)	茂 泉 健
14:20～14:50	共同研究 ① AC4CH 合金	いすゞ自動車(株)	竹中 俊夫
14:50～15:20	共同研究 ② A357 合金	ヤマハ発動機(株)	新野 力也
休憩			
15:40～16:10	共同実験 ③ AC2B 合金	富山大学	才川 清二
16:10～16:40	共同実験 ④ Silafont-36	日産自動車(株)	八下田 健司
16:40～16:50	おわりに	いすゞ自動車(株)	茂 泉 健